

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

1. 化学品及び会社情報

製品名 : ユニバースサルババッテリーパック
製品番号 : 518508180
製品コード : 000000006869904001 000000006869904001

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
住所 : 東京都港区港南1-2-70
1080075
Japan
電話番号 : 0120-600-152
FAX番号 : 0120-600-153
緊急連絡電話番号:
緊急連絡先 : カスタマーソリューションセンター
0120-600-152

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。
担当部署 : クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

危険な物質や混合物ではありません。

GHS ラベル要素

危険な物質や混合物ではありません。、製造元の指示に従って使用する場合は、MSDSに記載している電池は密封されており有害性はありません。通常使用に於ては電極及び電極液は外に漏れることはありません。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
Lithium cobalt(III) oxide	12190-79-3	40	
Carbon	7440-44-0	>= 30 - < 40	

版番号

1.2

改訂日:

2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12

初回作成日: 2021/05/10

炭酸ジフェニル	102-09-0	>= 25 - < 30	3-2490 4-(9)-103
Copper	7440-50-8	>= 10 - < 20	
Nickel	7440-02-0	5	
硝酸リチウム	7790-69-4	>= 1 - < 10	1-765

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
損傷していない眼を保護する。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
直ちに被災者を病院に連れて行く。
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
- 有害燃焼副産物 : 炭素酸化物

版番号
1.2

改訂日:
2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

窒素酸化物 (NO_x)
金属酸化物

- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。
付近の発火源となるものを取り除く。
安全な場所に避難する。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、地域の規則（項目 13 を参照）に従い廃棄するために容器に移す。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。
粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。
炎、熱および発火源から遠ざける。
可燃物から遠ざけること。
- 安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
皮膚感受性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に

版番号

1.2

改訂日:

2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12

初回作成日: 2021/05/10

従事しないことが望ましい。

- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 関係者以外立ち入り禁止。
容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 保管安定性に関する詳しい情報 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

8. ばく露防止及び保護措置**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
Lithium cobalt(III) oxide	12190-79-3	ACL	0.02 mg/m ³ (コバルト)	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	0.05 mg/m ³ (コバルト)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		詳細情報: 気道感作性物質, 第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質., 皮膚感作性物質, 第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質., 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。		
		TWA (Inhalable particulate matter)	0.02 mg/m ³ (Cobalt)	ACGIH
Carbon	7440-44-0	ACL (粉じん)	3 mg/m ³ /(1.19Q+1)	安衛法 (管理濃度)
Copper	7440-50-8	TWA (Dust and mist)	1 mg/m ³ (Copper)	ACGIH
		TWA (Fumes)	0.2 mg/m ³ (Copper)	ACGIH
Nickel	7440-02-0	OEL-M	1 mg/m ³ (ニッケル)	日本産業衛生学会 (許容濃度)

版番号

1.2

改訂日:

2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12

初回作成日: 2021/05/10

				度)
	詳細情報: 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 気道感作性物質, 第2群 人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質., 皮膚感作性物質, 第1群 人間に対して明らかに感作性がある物質.			
		ACL (粉状の物に限る)	0.1 mg/m ³ (ニッケル)	安衛法 (管理濃度)
		TWA (Inhalable particulate matter)	1.5 mg/m ³	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
Cobalt lithium oxide (CoLiO ₂)	12190-79-3	Cobalt (Cobalt)	Urine	End of shift at end of work-week	15 µg/l	ACGIH BEI

設備対策 : データなし

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。
効果的な防塵マスク

手の保護具

飛沫等に接触した場合:
材質 : ニトリルゴム
破過時間 : > 30 min
手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:
材質 : ブチルゴム
破過時間 : > 480 min
手袋の厚さ : > 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

皮膚及び身体の保護具 : 作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

色 : データなし

臭い : 非該当

臭いのしきい(閾)値 : 非該当

融点/ 範囲 : データなし

沸点/ 沸騰範囲 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし

引火点 : 引火しない。

自己発火性 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 非該当

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

粘度
粘度(粘性率) : 非該当

動粘度(動粘性率) : 非該当

溶解度
水溶性 : データなし

溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし
(log 値)

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 比重	: データなし
相対ガス密度	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
避けるべき条件	: 霜、熱、日光から保護する。 熱、炎、火花。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: フッ化水素 水と接触して分解する。

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

Carbon:

急性毒性（経口）	: LD50 経口 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 423 アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。 備考: この用量では死亡は観察されていない。
----------	---

炭酸ジフェニル:

急性毒性（経口）	: LD50 (ラット): 1,500 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401
急性毒性（経皮）	: LD50 経皮 (ラット): > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 402

硝酸リチウム:

急性毒性（経口）	: LD50 経口 (ラット, オスおよびメス): 1,426 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 401
----------	--

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.93 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
- 急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ラット, オスおよびメス): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考 : 皮膚に刺激/皮膚炎を起すことがある。

成分:**Carbon:**

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

炭酸ジフェニル:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考 : 製品の粉じんは、眼、皮膚、呼吸器官に刺激がある。

成分:**Carbon:**

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

炭酸ジフェニル:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

硝酸リチウム:

結果 : 眼に刺激性。

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考 : 感作を起こす。

成分:**Lithium cobalt(III) oxide:**結果 : 製品は皮膚過敏化性である、細区分 1A。
備考 : 感作を起こす。

アセスメント : 皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

Carbon:種 : マウス
方法 : OECD 試験ガイドライン 429
結果 : 皮膚を過敏化させない。**Nickel:**

アセスメント : 皮膚に触れると感作を起こすことがある。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**Carbon:**in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物突然変異生成分析 (エイムス試験)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陰性**発がん性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10**成分:****Copper:**

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

硝酸リチウム:

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**Nickel:**

アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

12. 環境影響情報**生態毒性****製品:****環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:**Lithium cobalt(III) oxide:****環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期（急性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期（慢性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

炭酸ジフェニル:魚毒性 : LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 3.9 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 1.ミジンコ等の水生無脊椎動物 : (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.5 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 2.藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Desmodesmus subspicatus (セネデスムス・サブスピカ
トウス)): 0.9 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 成長抑制
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.22
mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 成長抑制
方法: 指令 67/548/EEC, Annex V, C. 3.M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 短期 (急性))微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): 4,510 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209**環境毒性アセスメント**

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

Copper:**環境毒性アセスメント**水生環境有害性 長期 (慢 : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
性)

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10**Nickel:****環境毒性アセスメント**

- 水生環境有害性 短期（急性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に有害。
- 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
- 環境に関係する他の生物 : データなし

硝酸リチウム:**環境毒性アセスメント**

- 水生環境有害性 短期（急性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 水生環境有害性 長期（慢性） : 本製品には既知の生体毒性は無い。
- 土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。
- 環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性**成分:****炭酸ジフェニル:**

- 生分解性 : 生分解: 37 %
曝露時間: 28 d
方法: 理事会規則 (EC) No. 440/2008, 付属書, C. 4-E
備考: 生物分解性試験結果によれば本製品は容易に生体内で分解されない。

生体蓄積性**成分:****Lithium cobalt(III) oxide:**

- n-オクタノール／水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

Carbon:

- n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 非該当
(log 値)

Diphenyl carbonate:

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

生体蓄積性 : 備考: 分配係数 n-オクタノール/水により、生物への蓄積は予想されません。

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 3.28
(log 値)

Copper:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

Nickel:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

Lithium nitrate:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: データなし
(log 値)

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響**製品:**

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装

: 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3480
国連輸送名 (Proper shipping name) : LITHIUM ION BATTERIES
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : 9

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3480
国連輸送名 (Proper shipping name) : Lithium ion batteries
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : Lithium battery
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 965 IB
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 輸送は許可されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3480
国連輸送名 (Proper shipping name) : LITHIUM ION BATTERIES
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : 9A
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

非該当

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : データなし

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

版番号

1.2

改訂日:

2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12

初回作成日: 2021/05/10

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	番号	含有量 (%)
コバルト及びその化合物	172	>=40 - <50
銅及びその化合物	379	>=10 - <20
ニッケル及びその化合物	418	>=1 - <10

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	番号
コバルト及びその化合物	172
銅(粉状)	379
ニッケル(粉状)	418

特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

化学名
コバルト及びその無機化合物
ニッケル化合物（粉状の物に限る。）

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

版番号
1.2

改訂日:
2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法**第1種指定化学物質**

化学名	番号	含有量 (%)
コバルト及びその化合物塩化コバルト (II) / コバルト	132132	40
ニッケル	308	5.0

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第2,3条危険物告示別表第1: 有害性物質

航空法

施行規則第194条危険物告示別表第1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

有害物質 (法第2条、施行令第2条、排出基準を定める省令第1条)
指定物質 (法第2条4項、施行令第3条の3)

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)
非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)
非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

CH INV : インベントリーに従わない

AIIIC : インベントリーに従わない

版番号

1.2

改訂日:

2022/06/13

前回改訂日: 2021/05/12

初回作成日: 2021/05/10

DSL	: この製品には、カナダ DSL または NDSL リストに載っていない以下の成分が含まれている。 Aluminium
AICS	: インベントリーに従わない
NZIoC	: インベントリーに収載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに従わない
TCSI	: インベントリーに従わない
PICCS	: インベントリーに従わない
IECSC	: インベントリーに従わない
TSCA	: TSCA インベントリに登録されている物質を含む製品。
TECI	: インベントリーに従わない

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。 ACGIH 限界閾値 (TLV)
 ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
 安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
 日本産業衛生学会 (許容濃度 : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度)

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
 安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
 日本産業衛生学会 (許容濃度 : 許容濃度) / OEL-M

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造

版番号
1.2改訂日:
2022/06/13前回改訂日: 2021/05/12
初回作成日: 2021/05/10

及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2104